



# 阪神大震災!! 身近かな教訓の数々

## 二月十七日・元修徳小学校講堂は超満員

### 自主防災会

阪神大震災からちょうど一カ月。学区民の方々にも地震に対する関心が高まっている。予想通り二百三十名余の大勢の参加を得て、盛會裡に進めることができた。

講師側には、復旧活動が忙しい中にもかかわらず、学区民の熱意にまげてご協力していただいた方もあり、ありがたいことでした。



講師の方々と並んだ

熱心に聞いている聴衆の皆さん

会は、被災地で直接救援活動に携われた方々(消防署員・電気技師)の苦勞話に始まり、各講師の夫々の立場から、震災の現状と今後の検討課題や見直しの部分について、ていねいに説明していただきました。

これに対して学区民側からは、特に、水・交通・避難に関する、厳しくかつ切実な質問が出され、会場は熱気で溢れていました。

いかに科学の発達した今日でも、地震の予知は未だできないのが現状です。特に今回は、密集した大都市における直下型地震で、加えて対策に当たる当事者自身も被災者のため、大混乱が生じました。

当然これらは今後、見直

しが行われることで、私達防災会が過去八年間、訓練し研修してきたことは、決して無駄ではなかったと確信が持てました。

①お互いのコミュニケーションが深まる  
②組織ある行動力が確かなものとなる  
など、有事の時の対処法が反復練習することにより、知らず知らず自分のものとなりました。

また、こうした地味な練習の積み重ねは、その時の状況判断にも役立ち、「安全な場所」に一時避難して人員確保→修徳校へ移動して人員確保→下京広域広場へ移動、など応用されています。

この意味においても、本会は益々訓練と研修に励み、「和」を深めた強力な「組織力」の養成に重点を置いて、事ある時にはしっかりと対応できるような防災会にしたいと考えています。

## あれっ! 煙突は?

### 地震と修徳

平成7年1月17日(火)、午前5時46分。この日時は、最近の出来事では忘れられないことのない日となりました。

京都の我々は震度5の強震を体験したのです。そしてさらに驚いたのは、西隣の阪神地区が震度6、所によっては震度7という未曾有の激震で、その後報道されるテレビニュースにきき付けになったものでした。

ここに改めて被災された皆さんと、不幸にしてお亡くなりになられた五千四百余名の方に、心からお悔やみ申し上げます。

さて、私達修徳学区ではお蔭様にて大きな被害もなかったようですが、既にお気付きの方もおいでかと存じますが、修徳校舎の北東にそびえていた煙突がなくなっています。これは今回の地震による被害の一つかもしれません。

早速、学校管理の佐々木先生に、お聞きしてみました。

それは、徳万町の山崎さんがあの地震後、煙突にひ



びが入りコンクリートのかけらも落ちていたのを発見。各方面との連絡よろしく、結局、亀裂部分より上を市により除去したとのことで、また、中野之町の「亀山稲荷神社」の石灯籠も、バラバラの無残な姿を呈していました。

夜空に被災者の方々の一日でも早い立ち直りを願って、家路へと急ぎました。

〈当日の講師の方々〉

大阪ガス	吉田地域担当 課長
関西電力	大塚技術課長
開	技術係長
中井	庶務係長
北	九条営業 所長補佐
NTT	宮崎設備部長
衣川	広報課長
以上十二名	(山村)

下京消防署・喜多警防課長  
前田消防士長  
水道局  
上野消防係長  
内藤警備課長  
河田自主防災  
下京本部課長 補佐

## 人事往來

(順不同・敬称略)

- ☆転出 お元気で
  - 西 栄三 (亀屋)
  - 西 慶一 (〃)
  - 村上 正裕 (深草)
  - 新居 啓治 (〃)
- ☆転入 お悔み申します
  - 中村 哲也 (小田原)
  - 長女 美月ちゃん
  - ☆結婚 お幸せに
    - 山口 将人 (大堀)
    - ☆転入 どうぞよろしく
      - 高橋 英明 (亀屋)
      - 中島 澄子 (月見)

## 修徳の生き字引き

1月2日早朝、中村茂三郎さんが八十八歳の長寿を全うし、お浄土へ旅立たれました。

修徳同窓会の会長としてご存知の方も多いと思いますが、大正9年卒業の生き字引きで、学区関係の要職も歴任され、修徳のことなら何でもご存じの「生き字引き」のような方でした。

つい昨秋の区民運動会でも、元気なお顔を見せておられました。又、先日いただいた「閉校記念誌『修徳』輝ける二三年のあゆみ」の出来上りをとても楽しみにしておられたのですが、とうとう間に合わず、誠に残念なことでした。

町内にとっても大切な方で、お地蔵さんの飾りつけは、永いこと「おまかせ」そのものでしたし、その他の町内行事にはそれこそ率先垂範そのもので、町内の団結にはなくてはならない貴重な方でした。

## 燦たり 伝産功労賞

去る3月2日、当町の西沢治郎氏が、伝統的工芸品産業功労賞(京かのこ紋)をいただきました。

全国80人(内、13人が京都)が東京で一室に会し、通産大臣から賞状が授与されました。おめでとうございました。

(熊谷)

## 編集後記

各委員会の報告、有難うございました。

震災と出会ったこの号。記録保存の価値や大?

各町だよりが、もっと欲しいものです。個人的なご投稿も。(藪下町川上宅へ)

## 社協活動ごよみから

### 社会福祉協議会

※洛央小学校で  
「94 ふれ愛 語り愛」  
10月23日、洛央小学校区七学区の社協を中心に、洛央生涯学習フェスティバルと洛央PTA共催の下に、新築間もない洛央小学校で地域の高齢者と児童達が、昔の遊びや食べ物を通して交流するという、楽しい催しを致しました。

当日は晴天に恵まれ、午前十時から同校のランチルームを主会場に、約三百人(内、修徳は約二百名)が参加しました。

お年寄りによる、ハーモニカ・草笛・お琴などの演奏や、こま回し・おじやみ

※二年連続の

などの妙技はさすがに年齢が入ったもので、只々感心するばかりでした。

また、カルメラ焼き・はつたい粉などの、昔ながらの食べ物を食べたり遊びを共にして、参加者は大喜びの各老人福祉員に参加して

「ボランティアスクール」  
11月16日・12月14日の間に五回の研修会が開催され、昨年に引き続き、高橋 政江(玉屋町) 梅津 文子(月見町)の各老人福祉員に参加して

「三色玉 敬老福引き」  
1月15日は、恒例「修徳ふれあい広場」。こちらも常連、すっかり人気者の福引き屋開店。

「ラッキー賞、出まっしやろか。」  
「今年も赤玉でした。」  
と、お年寄りの注目の的。百三十六名中最高齢者は、月見町の山上トメさん(90)と、何が当たりましたか? なんと、それは「ピニツ」。

尚、当協議会の係りの方も「お茶席」も、お世話頂いた女性会の皆さんが、休む間もないほどの大にぎわいでした。(松本)

## 俳句・川柳

風花を大仰に受け 児等と嬉々 席詰めて トンドに かざす 手の白く 押し押し 柏手乱る 初えびす 細めあけ 狭庭に雪の しんしんと 初弘法 蛇持つ野師の 声高し (深草町・内田 保)

それぞれに 由来がゆかし 京野菜 榎山への 地図継ぎ足して 継ぎたして 大自然に さからい 神を見失う (弁財天・都倉 昭蔵)